

《担当者名》白石 淳 [jun-jun@hoku-iryo-u.ac.jp] 福間 麻紀 [m-fukuma@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

教育福祉学特論の学修をもとに、演習形式により文献検索・講読・討論をとおして、教育福祉に関する諸課題及び自ら設定する課題について深化させ、課題研究に発展させる。

【学修目標】

授業終了後には、次に示されたことができるようになる。

- 1)今日の社会における教育福祉に関する諸課題を取り上げ、課題が生じている要因などを的確に指摘することができる。
- 2)自らの学修課題を明確にすることができる。
- 3)上記の問題を解決する糸口を掴むことができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	授業のガイダンス	この演習の進め方を説明する。	白石 福間
2) 3	教育福祉に関する基本的な枠組み	先行研究から、教育福祉の到達点を検討する。	白石 福間
4) 5	教育福祉に関する分析の視点	先行研究から、教育福祉の分析の視点を検討する。	白石 福間
6) 7	教育福祉に関する調査の手法の検討	先行研究から、教育福祉の調査の手法を検討する。	白石 福間
8) 12	教育福祉に関する課題についての論文の講読及び検討	課題に関する論文の講読を行い、課題について検討する。	白石 福間
13) 15	教育福祉に関する課題についての研究方法の検討	課題についての研究方法を検討する。	白石 福間

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業の取組状況(参加、準備、意欲、態度)80% 課題の提出20%

【教科書】

適宜紹介指定する。

【参考書】

必要に応じて適宜紹介する。

【学修の準備】

課題に関連する文献を収集すること。その内容について、報告を求める。